

ご 注 意

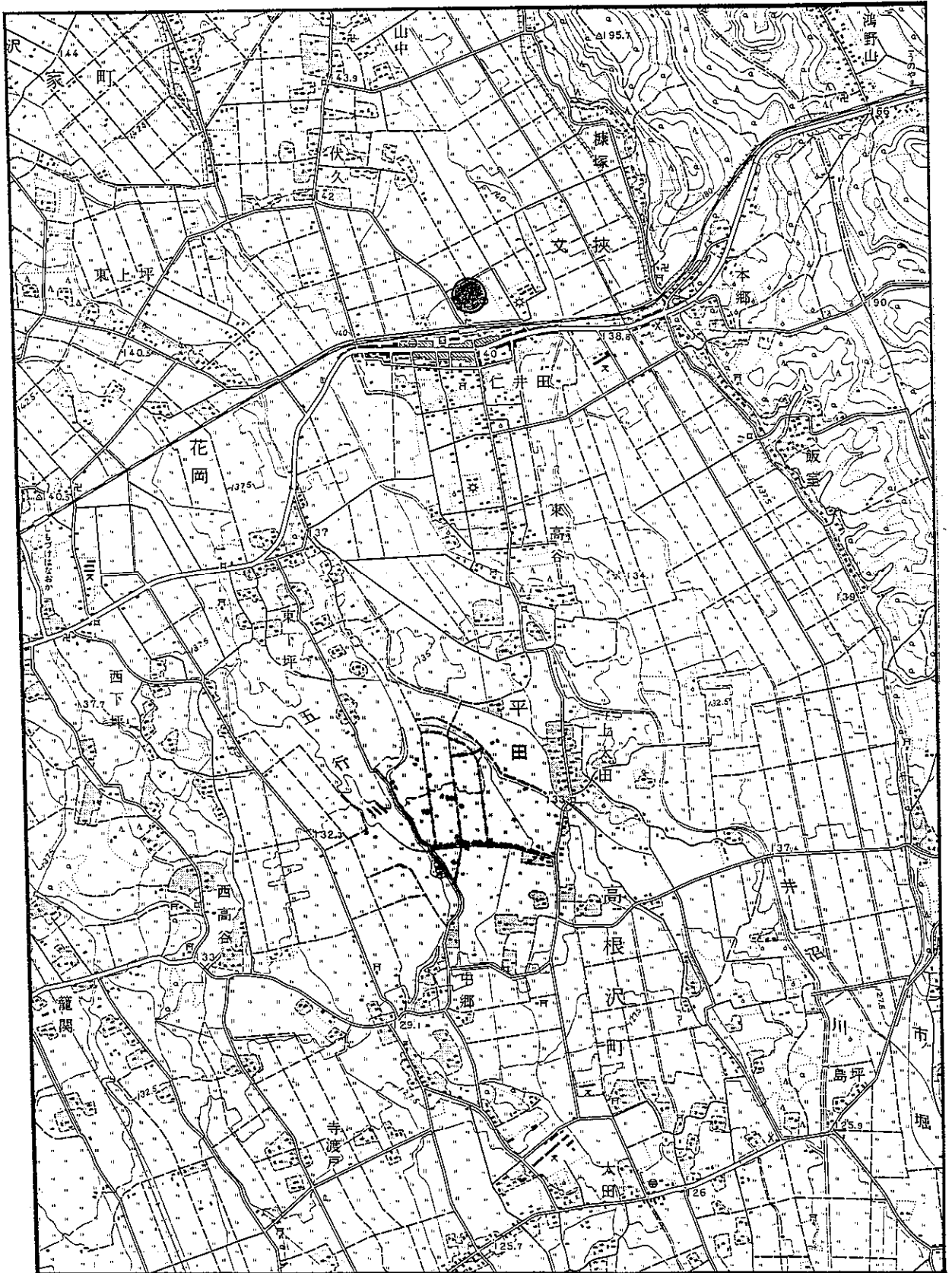
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

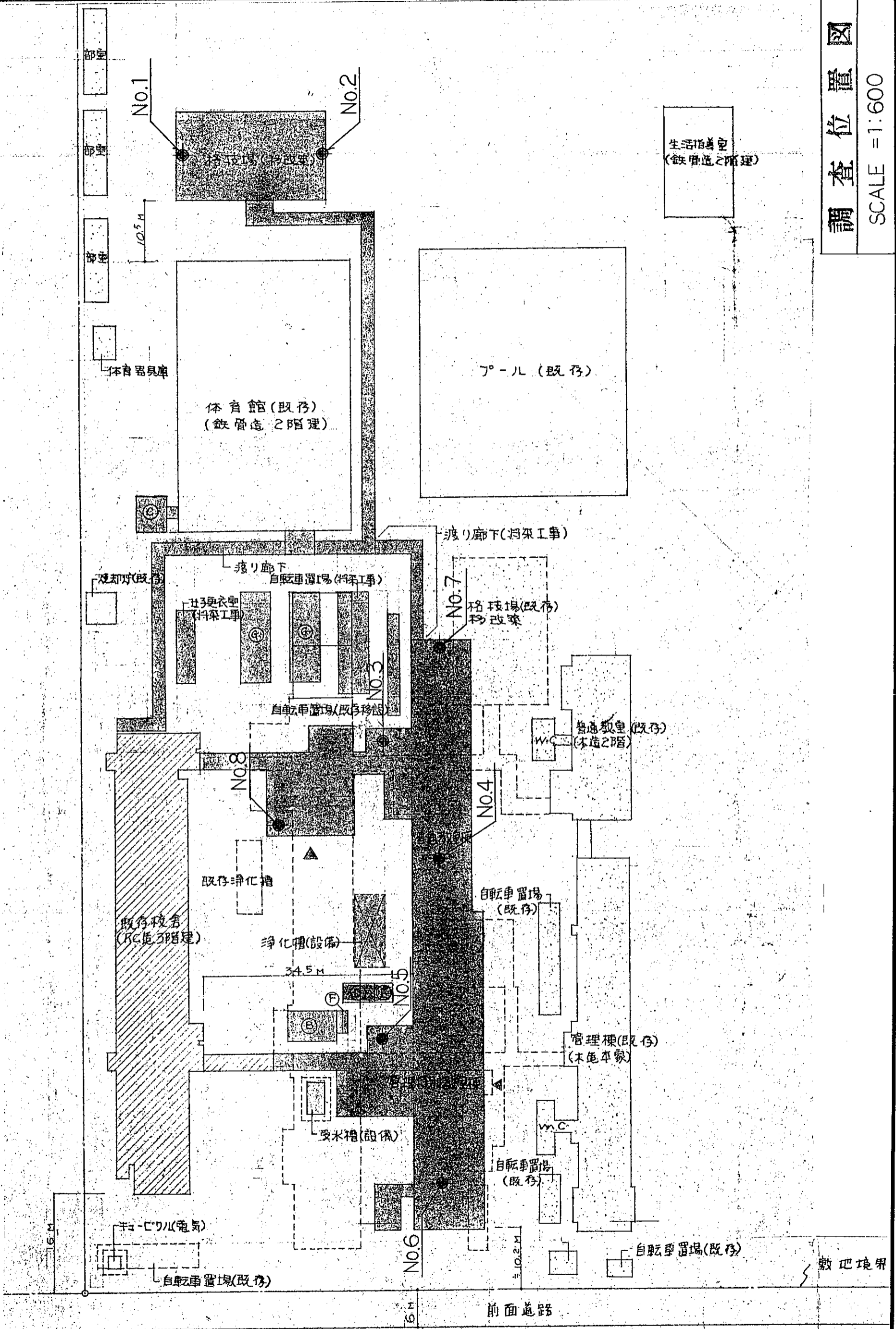
したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

2. 調査位置図



案内図 (S = 1 : 25,000)



調査位置図

SCALE = 1:600

ボーリング番号		6 /							備考												
調査名		高根沢商業高校管理特別普通教室棟新築工事地質調査										U 不攪乱試料採取 D 攪乱試料採取									
調査場所		高根沢町文棟32																			
調査年月日		昭和60年12月4日 ~ 昭和60年12月6日																			
標高		-0.34m					基準										仮BM=0.00m				
ボーリング工法		ロ-ドリ-式 (φ66mm)					現場技術者														
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	孔内水位 (m)	層厚 (m)	試料採取位置 (m)	土質記号	土質名	色調	記事	相対密度および	標準貫入試験										標尺 (m)
											貫入深度 (m)	N 値	10cm毎の打撃回数								
											貫入深度 (m)	N 値	10	20	30	10	20	30	40	50	
0	-0.64	0.30		0.30			粘土	暗褐色	玉石混る。砂が主体。												0
1	-1.24	0.90	1.5	0.60			有微質火山灰土	黒色	軽石が少量混入する。												1
2	-2.24	1.90		1.00		△△△△	軽石	黄褐色	0.9~1.0m 七本砕軽石	非常に	1.15										1
2	-2.64	2.30		0.40		△△△	粘土	赤褐色	1.0~1.9m 今市軽石	やわらかい	1.62										2
3								乳褐色	粘土が大である。	やわらかい	2.15										2
3									φ2~75%程度の円礫	非常に密な	2.45										3
3									垂直円礫が主体である。		3.15										3
4									所々φ100~150mmの		3.40										4
4									玉石が点在する。		4.15										4
5									3.50~3.60m		4.35										5
5									粘土を挟む。		5.15										5
6									4.60~5.0m		5.45										6
6									砂分が多い。		6.15										6
7									9.50~9.90m		6.30										7
7									粘土分が多く混る。	非常に密な	7.15										7
8											7.30										8
8											8.15										8
9											8.23										9
9											9.15										9
10	-10.24	9.90									9.31										10
10											10.15										10
11											10.40										11
11											11.15										11
12											11.30										12
12											12.15										12
13	-13.14	12.80									12.31										13
13											13.15										13
14											13.45										14
14											14.15										14
15	-15.62	15.28									14.45										15
15											15.15										15
16											15.28										16

ボーリング番号		No. 2		備考																					
調査名		高根沢商業高校管理特別普通教室棟新築工事地質調査		U.....不攪乱試料採取 D.....攪乱試料採取																					
調査場所		高根沢町文挾32																							
調査年月日		昭和60年12月6日 ~ 昭和60年12月7日																							
標高		-0.36m	基準	仮BM=0.00m																					
ボーリング工法		ロータリー式 (φ66mm)		現場技術者																					
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	孔内水位 (m)	層厚 (m)	試料採取位置 (m)	土質記号	土質名	色調	記事	相対密度およびコンシステンシー	標準貫入試験					標尺 (m)									
											貫入深度 (m)	N値	10cm毎の打撃回数				10	20	30	40	50				
0	-0.76	0.40		0.40			盛土	暗褐色	玉石混入。砂が主体。												0				
1	-1.36	1.00		0.60			有機質粘土	黒褐色	腐植物が混入。												1				
2	-2.36	2.00	2.0	1.00		△△△	軽石	黄褐色 赤褐色	1.0~1.2m 七本杉軽石 1.2~2.0m 今市軽石 多孔質の粒状構造あり。	やわらかい	1.15 1.45 2.15	3	1/3	1/7	1						2				
3	-3.06	2.70		0.70			粘土	乳褐色	粘性が極めて大である。	非常にやわらかい	2.65 3.15	0/50	モイロ目況						3						
4							砂礫	暗褐色	φ2~75mmの円礫・ 亜円礫が主体である。 所々、φ100~150mmの 玉石が混在する。 8.50m付近より礫介 が多く混入する。	非常に密な	3.29	50/14	20	30/4								4			
5						4.15					50/3	31	19/3											5	
6						5.15					50/5	36	14/3												6
7						6.15					50/2	21	24	5/1											7
8						6.36																			8
9						7.15					50/10	50													9
10						7.25																			10
11						8.15					50/13	38	12/3												11
12						8.28																			12
13						9.15					50/15	32	18/3												13
14						9.30															14				
15						10.15	50/25	20	25	8/3											15				
16						10.40															16				
17																					17				
18																					18				
19																					19				
20																					20				

ボーリング番号		No. 3		備考																				
調査名		高根沢商業高校管理特別普通教室棟新築工事地質調査																						
調査場所		高根沢町文挾32																						
調査年月日		昭和60年12月18日 ~ 昭和60年12月19日																						
標高		-0.17m		基準 仮BM=0.00m																				
ボーリング工法		D-911式 (φ66mm)		現場技術者																				
標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	孔内水位 (m)	層 厚 (m)	試料採取位置 (m)	土 質 記 号	土 質 名	色 調	記 事	相対密度および	標準貫入試験					標尺 (m)								
											貫入深度 (m)	N 値	10cm毎の打撃回数											
											10	20	30	10	20	30	40	50						
0	-0.47	0.30		0.30			盛土	黒褐色	礫混り有様質土山灰土が主体											0				
1	-1.17	1.00		0.70			有機質土山灰土	黒色	有機質豊富											1				
2	-1.97	1.80		0.80		△△	軽石	黄褐色 赤褐色	1.0~1.1m 七本稜軽石 1.1~1.8m 角礫石 多量な砂が混入	中位の	1.15	6	3	2	1					2				
3	-2.27	3.10	2.60	1.30			粘土	淡褐色	粘性が極めて大である 下部、礫が少量混入	非常に やわらかい	2.15									3				
4							砂礫	暗褐色	φ2~75mmの円礫並円礫が主体である。 所々、100~300mmの玉石が点在する。 6~7m付近は玉石が多量に混入。 8.3~9.5mは粘土成分が多量に混入。	密な 非常に密な	2.65	1/50	1/50							4				
5						3.15								4.0	16	12	12						5	
6						3.45								4.15	32	10	11	11					6	
7						4.45								5.15	31	10	10	11					7	
8						5.45								6.15	50/6	80							8	
9						7.15								7.18	50/3	50/3							9	
10						8.15								8.36	50/21	26	15	9/1					10	
11	-9.67	9.50		0.70							凝灰質粘土	褐色	軽石、角礫が混入	(非常に硬い)	9.15	50/16	25	25/6						11
12	-10.37	10.20		0.15							粘土混り砂礫	暗褐色	φ2~50mmの円礫主体	非常に密な	10.15	50/20	11	39						12
13		10.35													10.35									13

No. 3 孔

ボーリング番号		No. 4		備考																		
調査名		高根沢商業高校管理特別普通教室棟新築工事地質調査																				
調査場所		高根沢町文挾32																				
調査年月日		昭和60年12月16日 ~ 昭和60年12月17日																				
標高		-0.28m		基準 依BM = 0.00m																		
ボーリング工法		ローリ-式 (φ66mm)		現場技術者																		
標尺 (m)	標高 (m)	深 (m)	孔内水位 (m)	層厚 (m)	試料採取位置 (m)	土質記号	土質名	色調	記事	相対密度およびコンシステンス	標準貫入試験					標尺 (m)						
											貫入深度 (m)	N値	10cm毎の打撃回数									
											貫入深度 (m)	N値	10	20	30	10	20	30	40	50		
0	-0.58	0.30		0.30																		0
	-0.88	0.60		0.30																		
1	-1.48	1.20		0.60		△△△	軽石	黄褐色~赤褐色	礫混り有粘質土に石灰土を少量混入する。0.6~0.7m 七不砕軽石 0.7~1.2m 今中軽石	非常にやわらかい	1.15											1
2	-2.18	1.90	2.60	0.70			粘土	淡褐色	粘性が極めて大である。	非常にやわらかい	1.65	1/50			1/50							2
3										密な	2.15		44	14	14	16						3
4									φ2~75%の円礫と砂礫が主体である。	中位の	2.45											4
5				7.05			砂礫	暗褐色	φ100%程度の玉石が点在する。	非常に密な	3.15											5
6									2.80~3.90m 砂分が多く混入。		3.45		20	6	5	9						6
7									4.60~4.80m 細砂を挟む。		4.15		50/21	20	22	8/4						7
8									6m付近より礫分が多くなる。		4.39											8
9	-9.23	8.95		0.55					7.8m付近より粘土分が多少混入する。		5.15		50/27	19	18	13/4						9
10	-9.78	9.50		0.80			粘土混り砂礫	暗褐色	φ2~50%の円礫主体。	非常に密な	5.42											10
11	-10.58	10.30					凝灰質粘土	褐色	比較的硬い。軽石混る。	非常に硬い	5.78		50/21	26	20	4/1						11
12				2.60							9.36		10.15									12
13	-13.18	12.90					粘土混り砂礫	暗褐色	φ2~50%の円礫と砂礫が主体。	非常に密な	10.40		50/25	7	23	20/5						13
14				2.42			浮石質凝灰岩	淡褐色	上部は砂状化している。下部はなごに硬い。密度にあふてる。	中位の密な非常に密な	11.15		50/10									14
15	-15.60	15.32									11.25		12.15		50/18	20	30/8					15
16											12.33		13.15		21	6	7	8				16
17											13.45		14.15		42	9	13	20				17
18											14.45		15.15		50/17	24	26/4					18
19											15.32											19
20																						20

No. 4 孔

ボーリング番号		No. 5		備考																		
調査名		高根沢商業高校管理特別普通教室棟新築工事地質調査																				
調査場所		高根沢町文狭32																				
調査年月日		昭和60年12月13日 ~ 昭和60年12月15日																				
標高		-0.13m	基準	仮BM=0.00m		U.....不攪乱試料採取 D.....攪乱試料採取																
ボーリング工法		ロータリ式(φ66mm)		現場技術者																		
標尺(m)	標高(m)	深度(m)	孔内水位(m)	層厚(m)	試料採取位置(m)	土質記号	土質名	色調	記事	相対密度および	標準貫入試験										標尺(m)	
											貫入深度(m)	N値	10cm毎の打撃回数									
											貫入深度(m)	N値	10	20	30	10	20	30	40	50		
0	-0.63	0.50		0.50			盛土	黒褐色	0~0.1m有機質土山灰土													0
1	-1.28	1.15		0.65			有機質土山灰土	黒色	有機質を富む。		1.15											1
2	-2.23	2.10	2.30	0.95		△△△	軽石	黄褐色 赤褐色	1.15~1.60m本層軽石 1.60~2.10m今年軽石 多量な粒状を呈す。	中位の	1.45	11	3	4	4							2
3				1.65			粘土	淡褐色 暗灰色	粘性が大である。 2.80mより暗灰色を 示す。	非常に やわらかい	2.15	1/50			1/50							3
4	-3.88	3.75									2.65											4
5				4.95			砂礫	暗褐色	φ2~75mmの円礫・ 亜円礫が主体である。 併しφ100~150mmの 玉石が混入する。 5.50~7.00m付近は 玉石が多い。	非常に密	3.15											5
6											3.47											6
7											4.15	50/20	22	28								7
8											4.35											8
9	-8.83	8.70		1.10			粘土混り 砂礫	暗褐色	φ2~50mmの円礫・ 砂礫が主体である。 軽石が少量混入する。	非常に密	5.15	50/18	19	3/8								9
10	-9.93	9.80		0.65			凝灰質粘土	暗灰色	軽石が混入する。	非常に粘り 強い	5.33											10
11	-10.58	10.45									6.15	50/9	59									11
12											6.24											12
13											7.15	50/13	37	13/8								13
14											7.28											14
15											8.15	50/15	29	2/8								15
16											8.30											16
17											9.15	50/23	13	23	1/3							17
18											9.38											18
19											10.15											19
20											10.45		24	7	7	10						20

No. 5 孔

ボーリング番号		No. 6						備考																			
調査名		高根沢商業高校管理特別普通教室棟新築工事地質調査						U 不攪乱試料採取 D 攪乱試料採取																			
調査場所		高根沢町文挾32																									
調査年月日		昭和60年12月8日 ~ 昭和60年12月11日																									
標高		-0.19m		基準		仮BM=0.00m																					
ボーリング工法		ローリー式 (φ66mm)				現場技術者																					
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	孔内水位 (m)	層厚 (m)	試料採取位置 (m)	土質記号	土質名	色調	記事	相対密度おんじび	標準貫入試験										標尺 (m)						
											貫入深度 (m)	N 値	10cm毎の打撃回数														
											貫入深度 (m)	N 値	10	20	30	10	20	30	40	50							
0	-0.79	0.60		0.60		△△	盛土	黒褐色	有機質土山灰土が主体。上部20cmは碎石が混入する。													0					
1	-1.69	1.50		0.90		△△	有機質土山灰土	黒色	腐植物が混入する。軽石が少量混入する。	やわらかい	1.15	4	1	1	2							1					
2	-2.79	2.60	2.50	1.10		△△	軽石	黄褐色 赤褐色	1.5~1.6m 七折層軽石。1.6~2.6m 今中軽石。いずれも多孔質の粗粒。	非常にやわらかい	1.45 2.15	1/42	1/42									2					
3	-3.49	3.30		0.70			粘土	乳褐色	粘性が大である。	非常にやわらかい	2.57 3.15	8	0/15	7								3					
4				6.20			砂礫	暗褐色	φ2~75mmの円礫・亜円礫が主体である。所々φ100~150mmの玉石が混入する。8.30m以深は砂分が多いところがある。	非常に密な	3.45											4					
5					4.15	50/20					23	27															5
6					4.35											5.15	50/26	20	18	12/6							6
7					5.41											6.15	50/12	42	8/2								7
8					6.27											7.15	50/23	20	21	9/3							8
9					7.38											8.15	50/15	34	14/5								9
10	-9.69	9.50		1.20		△△	凝灰質粘土	褐色	粘性が大である。軽石少量混入する。	非常にやわらかい	8.30											10					
11	-10.89	10.70		2.20		△△	粘土混り砂礫	暗褐色	φ2~50mmの円礫・亜円礫が主体である。軽石が混入する。10.70~11.50mは褐色を呈す。	非常に密な	9.33	18	6	6	6							11					
12					11.15	50/23	41	9/3				11.28											12				
13	-13.09	12.90		2.47		△△	浮石質凝灰岩	淡褐色	12.90~13.70m付近 粘土分が多。礫状の浮石が混入する。13.70m以深 密実となる。	中位の	12.15	50/13	39	11/3								13					
14					12.28							13.15	28	9	9	10							14				
15	-15.56	15.37			13.45							14.15	50/15	31	19/5								15				
16											14.30											16					
17											15.15	50/22	16	22	12/6							17					
18											15.37											18					
19																						19					
20																						20					

No. 6 孔

ボーリング番号		No. 7						備考																				
調査名		高根次商業高校管理特別普通教室棟新築工事地質調査																										
調査場所		高根次町文撰32																										
調査年月日		昭和 60年 12月 20日 ~ 昭和 60年 12月 21日																										
標高		-0.32m		基準		仮BM = 0.00m																						
ボーリング工法		ロ-711-式 (φ66mm)				現場技術者		U.....不攪乱試料採取 D.....攪乱試料採取																				
標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	孔内水位 (m)	層 厚 (m)	試料採取位置 (m)	土 質 記 号	土 質 名	色 調	記 事	相対密度およびコンシステンシー	標準貫入試験										標尺 (m)							
											貫入深度 (m)	N 値	10cm毎の打撃回数			10	20	30	40	50								
0	-0.62	0.30		0.30			盛土	黒褐色	礫混り有機質土質が主体																			
1	-1.42	1.10		0.80			有機質土質	黒色	有機質と富み、軽石が混入する。		1.15												1					
2	-2.02	1.70		0.60			軽石	黄褐色~赤褐色	1.10~1.20mで本層軽石、1.20~1.70mで赤褐色軽石	やわらかい	1.45	5	2	2	1								2					
3	-3.17	2.85	2.60	1.15			粘土	淡褐色	粘性が大きい。	非常にやわらかい	2.15		1	0	1								3					
4							砂礫	暗褐色	φ2~75mmの円礫・亜円礫が主体である。φ100~150mmの玉石が点在する。4m付近砂が多い。8m付近粘土分が多い。	非常密	3.15	50	37	13											4			
5				5.36										3.26	11	1											5	
6														4.15	50	16	34											6
7														4.35	20													7
8														5.15	50	8	32											8
9														5.34	19													9
10														6.15	50	50												10
11														6.19	4	4												11
12										7.00	50	50												12				
13										7.07	7	7												13				
14										8.15	50	50												14				
15										8.27	6	6												15				
16																								16				
17																								17				
18																								18				
19																								19				
20																								20				

No. 7 孔

ボーリング番号		No. 8					備考															
調査名		高根沢商業高校管理特別普通教室棟新築工事地質調査					U……不攪乱試料採取 D……攪乱試料採取															
調査場所		高根沢町文殊32																				
調査年月日		昭和60年12月21日～昭和60年12月23日																				
標高		-0.18m		基準	仮BM=0.00m																	
ボーリング工法		ローリー式(φ66mm)			現場技術者																	
標尺(m)	標高(m)	深度(m)	孔内水位(m)	層厚(m)	試料採取位置(m)	土質記号	土質名	色調	記事	相対密度およびコンシステンシー	標準貫入試験										標尺(m)	
											貫入深度(m)	N値	10cm毎の打撃回数									
													10	20	30	10	20	30	40	50		
0	-0.48	0.30		0.30			盛土	黒褐色	軽石が混入する砂質土。													0
				0.50			有機質土	黒色	腐植物が混入する。													
1	-0.98	0.80		0.70			軽石	黄褐色 赤褐色	0.8~0.9mで本層軽石 0.9~1.5m今市軽石	非常に やわらかい	1.15										1	
2	-1.68	1.50	1.90	1.20			粘土	淡褐色	粘性が極めて大である。	非常に やわらかい	1.50	1	0	1								2
3	-2.88	2.70									2.25	34	18	16								3
4									φ2~75mmの円礫重円礫が主体である。		2.49	50	15	22	13							4
5				4.59			砂礫	暗褐色	所々φ100~150mmの玉石が混入する。 4m付近は砂分が多い。	非常に 密実	3.42	27	18	22	10							5
6											4.15	30	18	22	10							6
7	-7.47	7.29									4.38	23										7
8											5.15	50	24	26								8
9											5.34	19										9
10											6.15	50	21	29								10
11											6.35	20										11
12											7.15	50	32	18								12
13											7.29	14		4								13
14																						14
15																						15
16																						16
17																						17
18																						18
19																						19
20																						20

No. 8 孔